

目次

12月定例会

- 村立東海病院の歯科は廃止へ P 2
- 「村立保育所、幼稚園等に関する
再編整備基本計画の見直し」についての請願 ... P 2
- 賛否の分かれた議案、討論 P 3
- 村政を問う! 〔一般質問〕 P 4~11
- 3月定例会日程(予定) / 議会の豆知識 P12

12月議会 あらまし

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



QRコード

令和2年第4回定例会（12月議会）は、12月1日に開会し、18日までの会期で開催しました。

一般質問は、12月9日から11日までの3日間で、前回9月議会の12人を上回る14人の議員が質問を行いました。また、14日と15日は予算決算委員会にて令和2年度補正予算を審査しました。

18日の議案審議では、**村立東海病院の歯科廃止に伴う条例改正や令和2年度補正予算、教育長の任命など村長提出の議案35件全てを可決・同意しました。**文教厚生委員会に付託された「**村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画の見直しについての請願**」については、賛成少数で不採択となりました。

村立東海病院の歯科は廃止へ

需要の高い通所リハビリテーションを拡充

村立東海病院は、平成18年に内科、外科、歯科など9診療科で開設しましたが、本年3月末をもって歯科が廃止となります。その理由は、村内の開業歯科医の充実に伴って東海病院の歯科は受診者数が減少、また、歯科医療設備の老朽化によるものです。

今後は、村民の需要が高い通所リハビリテーションを拡充する方向とのことで、地域包括ケアの中核に位置する病院として、住民サービスの向上に向けた取り組みを期待します。



「村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画の見直し」についての請願

不採択

村では、村立幼稚園の再編（村松幼稚園へ段階的に統合）に向けた方針を示していますが、これに対して中学校区単位に1か所以上の村立幼稚園を存続することを求める請願が議会に提出されました。

これを受け、文教厚生委員会において、請願者の思いや意見、再編整備の課題等を確認

し、併せて村執行部の議論の経過や再編整備の根拠となるケーススタディを確認するなど、慎重審査した結果、賛成少数で本請願を不採択としました。

本会議において委員長報告をし、それに対し5名の議員による活発な討論が行われ、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

議員名 議案等名	新政とうかい										みすずの会		公明党		結果				
	鈴木 昇	飛田 静幸	舛井 文夫	大内 則夫	越智 辰哉	河野 健一	武部 慎一	吉田 充宏	寺門 定範	笹嶋 士郎	三上 修	江田 五六	恵利 いつ	阿部 功志		岡崎 悟	植木 伸寿	大名美恵子	村上 孝
議案第87号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
請願第2-3号	×	議長	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	不採択

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

議案第87号	令和2年度東海村一般会計補正予算（第8号） 固定資産税の増額、特別定額給付金事業費補助金の確定、東海村文化財保護活用基金の創設等に伴い必要な予算措置を講じるもの
請願第2-3号	「 村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画 」の見直しについての請願 中学校区単位に1つ以上の村立幼稚園の存続を求めるもの

討論

議案第87号 令和2年度東海村一般会計補正予算（第8号）

反対

大名美恵子 議員

デジタル化という技術革新を国民の暮らしに役立てることは大切。しかし現政権の下では、デジタル化が自助を強調し社会保障を切り捨てる新自由主義政策を推進する手段となり、監視社会、警察国家につながる危険がある。

請願第2-3号 「村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画」の見直しについての請願

反対

新政とうかい 吉田 充宏 議員

今回の請願は、村立幼稚園に特化しており保育所や認定こども園も含め、就学前の保育・教育の環境を整えていく視点が重要である。本村の少子化及び保育ニーズの高まりから統廃合の流れは、やむを得ないため反対。

賛成

みすずの会 江田 五六 議員

コロナ対策やデジタル化への対応は、一刻の猶予も待たずに実行すべき。デジタル化へ向けては、村民の中の有識者・役場職員・専門家の三者でプロジェクトチームを作り、村民の利便性及び利益に叶うシステム作りが必要。

賛成

大名美恵子 議員

本村幼稚園の立地環境に伴う豊かな保育内容が、見直し後継続できるのか、委員会の審査のようすが伺えない。また合理化の中で教育の充実を求めたこともない。子どもを増やすために何が必要かの議論こそが重要。

賛成

みすずの会 恵利 いつ 議員

たとえ行政が庁内で熟慮したことであっても、多くの住民に影響が及ぶ決定を一方的に告げることは上意下達である。協働のまちづくりを掲げても住民と行政の間に信頼関係は育まれない。丁寧な取り組みを求める。

賛成

村上 孝 議員

合理化を図り将来ある子どもたちの教育を充実させるべきなどの意見が出されたが、幼小連携の充実を図ることの方が、本村にとってより良い選択である。一方的な統廃合ありきの説明ではなく、納得できる説明が必要。

賛成

みすずの会 阿部 功志 議員

請願は公立幼稚園の大切さと必要性を理路整然と述べる。だが委員会の結論は当事者の心身の負担への想像力が不十分で、住民不在・コスト意識中心の行政を追認するだけの、住民に不信感とあきらめを抱かせるものだ。

討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

村政を問う!

一般質問

一般質問とは

議員が、村のさまざまな施策について村長や教育長に対して質問し、時には是正を求めながら、新たな施策の提案や意見を述べ、村政をより良い方向へ導くものです。

武部 慎一 議員 P.5

- 1 学校教育における ICT 化の現状
- 2 コロナ禍での学校休校中の教育の実態
- 3 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）の表明と評価
- 4 **コロナ禍における総合管理計画の状況**
- 5 文教地区の更新計画

河野 健一 議員 P.5

- 1 **給食費の公会計化**
- 2 転居者のごみ集積所の使用
- 3 GIGA スクール構想について

三上 修 議員 P.6

- 1 **本村の原子力事故時の広域避難訓練のあり方**
- 2 高齢地区の天災時避難方法の改善

恵利 いつ 議員 P.6

- 1 コロナ禍が継続する状況下、村民が交流できる環境整備は
- 2 「むかし道」を活かすまちづくり
- 3 （仮称）歴史と未来の交流館の開館に向けて進捗状況は
- 4 **困難な時こそ住民に寄り添った行政を**

村上 孝 議員 P.7

- 1 **村立幼稚園等の再編整備問題**
- 2 水田再編と斜面緑地の保護

舩井 文夫 議員 P.7

- 1 空き家の現状と条例施行の状況
- 2 **駅前広場の再整備及び無電柱化**
- 3 根本陸夫杯の経過
- 4 津波対策について
- 5 **区画整理事業と今後の事業継続**

吉田 充宏 議員 P.8

- 1 **庁内のデジタル化**
- 2 民生委員・児童委員の課題
- 3 地域未来ビジョン推進事業について
- 4 自分ごと化会議の進捗

岡崎 悟 議員 P.8

- 1 **胃がん集団検診について**
- 2 固定の非接触体温計の設置
- 3 HPV ワクチンについて
- 4 石神小学校古墳周りの歩道整備
- 5 自殺対策計画について

笹嶋 士郎 議員 P.9

- 1 **村内新型コロナ支援策について**
- 2 少子化対策について
- 3 幼稚園の統廃合
- 4 村立東海病院の改修工事計画

植木 伸寿 議員 P.9

- 1 **第6次総合計画推進への取組状況は**
- 2 中小事業者に対する取組は
- 3 国土強靱化地域計画策定への取組は

越智 辰哉 議員 P.10

- 1 新型コロナウイルス対策と財政
- 2 水道管の更新計画
- 3 **地域支え合い活動の充実**
- 4 交流館及び駐車場再整備の今後の進め方
- 5 スポーツによる地域活性化

大名 美恵子 議員 P.10

- 1 「村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画」見直しに関連して
- 2 加齢性難聴者の補聴器購入への助成制度創設
- 3 今年3月の6首長による原電への「申入れ」及びその「回答」に関連して
- 4 多面的機能支払交付金の実績及び今後の課題
- 5 小学新1年生にランドセル（通学カバン）プレゼントを
- 6 **国保事業の見直しについて**

阿部 功志 議員 P.11

- 1 幼稚園・保育所再編整備計画の課題対策は
- 2 自治会活動の課題を整理するには
- 3 障がい者支援事業の見直しは
- 4 **「自分ごと化会議」の進め方は**
- 5 新型コロナはこの冬に感染拡大が予測されるが、村の具体的な対策は
- 6 **原発重大事故の被害想定と被害額試算を原電と県に求めては**

江田 五六 議員 P.11

- 1 **コロナ禍の「新しい生活様式」を支援する窓口業務と支援策**
- 2 コロナ禍後のイベント・事業の在り方
- 3 文化財指定の照沼家住宅の保存管理
- 4 **デジタル化時代に対応した職員の IT スキルの向上**

※青字の質問を掲載。
※ホームページでもご覧いただけます。

東海村議会

検索





問 コロナ禍の総合管理計画とは

答 令和3年度中に改訂作業を進める

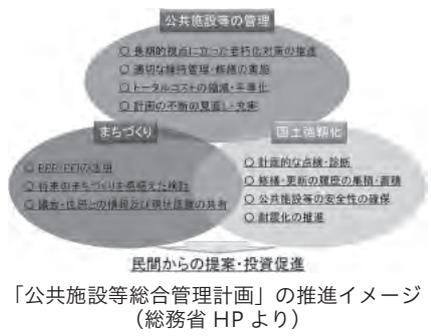


新政とうかい
たけべ しんいち
武部 慎一 議員

問 東海村公共施設総合管理計画は短期く中期の計画的な事業計画が記載されているが、コロナ禍における感染症対策と産業への影響を考えると、これまでに以上に財政環境は厳しいものになる。老朽化施設は統廃合するなど、無駄に更新工事で延命を施すことなく、全ての施設に優先順位をしっかりと考えておかなければならない。聖域なしで6ヶ所もあるコミセンの必要性、少子化による小学校や幼稚園・保育所の統廃合など、可能な限り早期に検

討を進める必要がある。村の考えを伺う。

答 村の計画は、5年毎の改訂に向け、骨子案の作成作業を進めている。今後、公共施設の老朽化に伴う維持管理・更新に係る経費の増大により、財源不足が見込まれる。改訂にあたっては、全ての施設を一律に長寿命化するのではなく、各施設の役割や将来的な維持管理コストの見込みなどを考慮し、統廃合を含め公共施設の最適化に向け、計画の方向性を定めていく。



一般質問

問 学校給食費の納入先を村の会計に

答 令和4年度から開始に向け準備中



新政とうかい
かわの けんいち
河野 健一 議員

問 現在、村では給食費の徴収は学校単位で行うため、先生方は未納者に対し対応に苦労していると聞く。文部科学省では、教職員の負担軽減の観点から給食費の納入先を市町村へ移行する公会計化を働きかけているが、村の取り組み状況は。

答 現在、村では給食費の徴収は学校単位で行うため、先生方は未納者に対し対応に苦労していると聞く。文部科学省では、教職員の負担軽減の観点から給食費の納入先を市町村へ移行する公会計化を働きかけているが、村の取り組み状況は。

答 村では、教職員の負担軽減や徴収における公平性の確保につながることから、公会計化の必要性を認識している。今後、徴収方法や徴収状況を管理するシステムの導入を検討し、令和4年度の公会計化を目指し、着実に準備を進めていく。



おいしい給食のようす (白方小)

問 広域避難計画と訓練のあり方は

答 図上訓練等を加えて対案を深化

問 本年度は新型コロナウイルス感染症の問題で、守谷市への広域避難訓練が実施できなかったが、住民の高齢化で訓練時の移動も困難との声が聞かれる。広域避難計画は、村民の安全安心なまちづくりのためにも、他の市町に先駆けて進める必要があるが、百点満点でなくとも概ね固まった時点で公表し、ブラッシュアップを重ねていく段階にある。来年度も感染症の状況が改善されない場合、バスの避難等については、スーパーコンピュータを使ったシミュレーション



新政とうかい
みかみ おさむ
三上 修 議員



広域避難時の渋滞予想はスーパー・コンピュータで解析を

ヨンをを行う等の対策が必要ではないか。
答 広域避難訓練については、平成28年の避難計画案の公表以降、国・県等と連携した大規模・広域的な取り組みを必要としてきた経緯がある。課題の洗い出しや検証、国・自治体等との連携を一層深化させる必要性があると認識している。引き続き、実動型を基本としつつ、図上訓練等を適宜工夫しながら取り入れる形で実効性向上に向けての対案を練る。

問 困難な時こそ住民に寄添う行政を

答 各部署と連携してサポートする

問 コロナ禍は地域の事業者のみならず、家庭経済にも様々な影響が出ている。住民が困っているときに手を差し伸べるのが、基礎自治体のあるべき姿勢。コロナ禍で本村出身の子どもが、誰一人学業をあきらめることがないようにしっかり支援を。
答 学生や生徒の情報を収集し、奨学金制度をさまざまな方法で広報する。状況に応じて各種支援策を案内する。
問 核家族の多い東海村。幼子のいる家庭の親がコロナに感染した時の支援体制は。
答 保健所と連携・相



みすずの会
えり 恵利 議員

談しながら、個々の家庭環境に応じた監護ができるように努める。
問 母子父子家庭家賃補助の支給を、現在の4か月ごとから毎月支給へできないか。
答 支給回数の変更に
ついて検討を進める。
問 コロナ支援情報を受け取りにくい障がい者への対応は。
答 障がいの特性に
応じ、窓口案内のほか
様々な方法で伝達不足
がないように工夫する。
問 3歳未満の在宅育
児支援の更なる充実を。
答 一自治体では財政
的支援の制度設計が難
しい。



明石市ではおむつを無料支給
と併せて見守り訪問を実施



問 なぜ、**村立幼稚園を再編する**のか

答 適正規模の集団を維持するため



むらかみ たかし 議員
村上 孝

問 村は平成30年4月に村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画を作成し対応を図っているが、なぜ、急に再編計画を進めようとしているのか。

答 定員割れしている園の児童数が減少するなど、当初計画の方向性に大きな乖離が生じてきている。

問 一定の園児数が集まらないと、教育の質の向上には繋がらないのか。統合による合理化でしか、本村の幼児教育はできないのか。児童の一元化は、各学区の地域コミュニティを崩壊させるものか。

答 適正規模の集団でなければ確かな幼児教育は提供できないと考える。子どもの育ち、保育活動の質を高めていくには統廃合はやむを得ない。また、再編により地域の分断を図ることなど全く考えていない。

問 教育の質を向上させるため、学区ごとに小学校と連携を進めるべきか。

答 小学校や地域とはこれまでとは違った形で連携し、つながりを大切にしていく。



さまざまな施策に取り組む石神幼稚園

問 **駅東口広場を再整備**すべき

答 利便性等の対策を検討する



新政とうかい
ますい ふみお 議員
舩井 文夫

問 駅西口広場は、整備が進んでいる。一方、駅東口広場は整備当初のままであり、近年周辺環境が大きく変化している中で、抜本的な見直しが必要と考えるが、村の考えを伺う。

答 駅東口広場は、村の玄関口として広く利用されてきた。しかし、供用開始から24年が経過し、駅周辺の土地利用の変化や送迎車の増加などにより、大変混雑する状況が確認されている。村としては、駅利用者の利便性向上や駐車場などの交通安全を確保する対策を検討していきたい。

問 区画整理事業の進捗状況は

答 駅西地区は換地処分を進める

問 区画整理は駅西地区も近く清算予定だが、進捗状況を伺う。

答 駅西地区は、東海駅西口広場再整備3期工事が令和2年度末に、換地処分が令和3年度末の完了予定。中央地区は事業費ベースの進捗が86%となり、令和2年度末には勝木田下の内線の開通を予定している。早期の事業終了に努めたい。



再整備が進む駅西口広場

問 早急にデジタル化を推進すべし

答 まず「まるデジ構想」を実現する



新政とうかい
よしだ みちひろ
吉田 充宏 議員

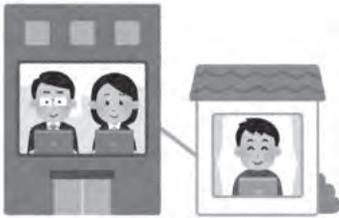
問 茨城県は8月時点で電子決裁率は100%である。デジタル化のメリットは、検索効率の向上、行政文書の改ざん防止、ペーパーレス化、省スペース化、テレワークの推進などである。本村の進捗を伺う。

答 勤怠・予約決裁のみ電子化されており、起案文の決裁は電子化されていない。

問 民間では当たり前のように行われているデジタル化も本村では進んでいない。これでは業務の効率的・効果的な改善は進まない。会津若松市では、公共

データをオープンにし、二次利用の推進を行い、透明性・信頼性の向上と新規事業、雇用創出など地域の活性化に寄与している。また、防災に関しては徳島県と日本テレビなどが、テレビとICカードを活用した防災対策システムを構築しており、本村も検討すべきと考えられる。見解を伺う。

答 まず「とうかいまるとことデジタル化構想」に基づき役場業務の改革を図った上で、スマートシティや防災分野への取り組みの調査・研究を行う。



行政手続きをデジタル化し、行政サービスの改革を

問 村健康診断に胃カメラの導入を

答 関係機関との調整を図りたい



公明党
おかざき さとる
岡崎 悟 議員

問 村集団健康診断では、現在バリウムでの検査を実施しているが、村民の方から体に合わず、つらいとの声がある。バリウムと胃カメラのどちらか選択制にできないか、村の考えを伺う。併せて、県内における胃カメラの導入状況を伺う。

答 村で胃内視鏡検査を実施する場合は、「胃内視鏡検査画像読影管理委員会」及び「胃内視鏡検診運営委員会」の設置が必須である。日本消化器がん検診総合認定医等の十分な経験を有する2名以上の医師によって、検査画

像の読影を行うとされている。一方、「胃内視鏡検診運営委員会」は、地区医師会や検診実施機関等の専門医から構成され、検査医の認定、委員会の運用等を行う。このほか、日本消化器がん検診総合認定医等の専門医や検診実施医療機関の確保も課題となっている。現在、水戸市や日立市など県内10市町で、委員会を設置し胃内視鏡検査を導入している。今後、関係機関との調整を図り、課題解決に向け取り組みたい。



集団検診で健康管理を



問 割引キャンペーンをより早期に

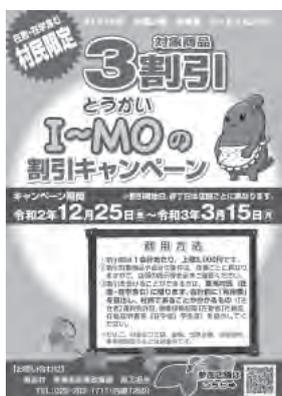
答 可能な範囲で最短とした



新政とうかい
ささじま しょう 議員
笹嶋 士郎

問 9月議会においてコロナ支援のため「村内で買物や飲食の3割引キャンペーンを実施すべき」との質問をし、当該支援策が12月25日から実施することとなった。12月1日から、もつと早く実施できないか。

答 現状を踏まえて、9月議会以降どのような支援策が効果的か商工会と協議し、キャンペーンの内容を決定した。その後、事業者募集や村民への周知のスケジュールを



とうかいI~MOの割引キャンペーン

問 新型コロナウイルスの状況は、今後も変わらないと思う。来年以降コロナ対策に国や村の財政支援が続くことは、困難な状況が考えられる。飲食業者等に対し自助防衛策を求めているかなければならないと思うが、村の考えは。

答 飲食業者等は、これまで消毒や換気などさまざまな感染予防対策を徹底し、自助防衛に取り組んでいる。今後の状況に応じ、村からも支援に努めたい。

問 「SDGs」進捗状況の可視化は

答 達成に向け「見える化」を検討



公明党
うえき しんじ 議員
植木 伸寿

問 第6次総合計画で示された「人づくり」の取り組み状況は。

答 コロナ禍で、思うような事業展開ができない状況である。現在は、来年度に向けて新しい生活様式を踏まえ、新たな価値観のもと手法を模索しながら事業を検討する。

問 SDGsへの進捗状況はどうか。

答 実施計画は、各事業のほとんどがSDGsに紐づけられるため、事業推進がそのままSDGsに繋がると考える。



建築が完了した「歴史と未来の交流館」

2030年の目標達成に向け推進されている。進捗状況を確認する可視化など、どう考えるのか。

答 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で「SDGsの達成に向けたまちづくり」に向け、分野、施策、主体に捉われない分野横断的ミッションに重点的に取り組んでいる。村でも、特徴を生かした取り組みを進める必要があると考える。コロナ禍により進まない事業もあるが、SDGsの取り組みは「見える化」を検討したい。

一般質問

問 支え合い活動が広がらない要因は

答 村の補助制度の様々な制約が一因



新政とうかい
おちや 辰哉 議員

問 高齢者の日常生活の困りごとを住民同士で助け合う「支え合い活動」の必要性が高まっている。ニーズの高まりに対して、本村でこうした活動が広がらない要因は何か。

答 村には、「地域支え合い活動団体補助制度」があり、介護予防と生活支援サービスをを行う団体に対し補助している。しかし、活動回数や対象者の条件があり、特にサービス対象者が、要支援1・2及び要支援の一手前の方と限定的であり、介護保険制度の枠を超えられないことが一因



困りごとを抱える高齢者が増加している

問 介護予防はまさに行政サービスの一翼を担っているが、一方で生活支援は、料金を支払った対価として受けるサービスではなく、住民同士の「おたがいさま」が原点。現状の補助制度の観点ではなく「おたがいさま」の意識が地域で広がるよう、役場の部局を越えた取り組みを展開すべき。

答 物理的な支援のみならず、精神的な意識の醸成も大切であることとを、役場組織全体が共有し地域と共に考えていく。

問 国保税被保険者の負担軽減を

答 次の改定では減額改定も視野に



おおな みえこ 議員

問 国保の県域化では、市町村独自の被保険者を守る施策が少なくなると思われる。例えば税軽減のために一般会計から法定外繰入れを行えば、県交付金のうち保険者努力支援分が減額されるなど。しかし、国会論戦で厚生労働省は「法定外繰り入れ」は「地方の判断で良い」と、答えている。県が進める賦課方式も負担増にならないか危惧する。税引き下げの見通しは持てないか。

答 現在の税率は、県域化に伴い県が示した標準保険料率や国保事業費納付金額を踏まえ、



難しい！国保税の仕組み。役場職員がざっくり解説。税引き下げのポイント解説もあればいいのだが。

平成30年度に改定したもの。次は、賦課方式の変更と合わせて令和4年度の改定を検討したい。

問 現時点で、引下げにつながる要素があるかどうか分かることがあれば問う。

答 令和元年度分以降の標準保険料率のうち医療費分が、村国保の税率より低くなっていることから、次の改定では減額改定も視野に入れて検討したい。



問 原発事故の被害額試算を求めては

答 状況は様々で県は試算の予定なし



みすずの会
あべ こうし 議員
阿部 功志

問 リスク管理の基本として、原発や県に原発事故時の被害想定と被害額の試算をするよう求めてはいかがか。

答 県は、被害の程度や範囲等、仮定の置き方によって評価が異なるとの認識で、現状、被害額試算の予定はないと聞いている。

問 原発は説明会で、被害の大きさを想定するのは大変だから算定しない、と答えている。被害の想定もしない避難計画では意味がない。被害額算定は必要ないとする理由は。

答 計画は被ばくのリスクを抑えて避難でき

るように作るもの。事故の規模や状況で変わるの、計画に盛り込むのは困難。

問 「自分ごと化会議」の進め方は

答 参加者の意向・総意の下進める



自分ごと化会議 (アイヴィル)

問 講師の谷口武俊氏は原子力畑の方だが、バランスをとった話を願いたい。運営を依頼した「構想日本」と何か調整は。

答 不要な感情的対立を避け、話しやすい雰囲気づくりや議論の論点提示・整理に期待している。

問 高齢社会に向け 窓口業務の充実を

答 より丁寧な対応を心掛ける



みすずの会
えだ いっむ 議員
江田 五六

問 これからの高齢社会とコロナ禍後の時代には、村民生活に寄り添った新たな感覚での窓口業務が求められる。例えば、住民が歩いて行ける各コミセン等での窓口対応が必要と考える。日立市では「亡くなった方の手続き」を一括し、遺族の負担軽減を図っているが。

答 村では、住民課へ死亡届が提出された際に、手続きに関する案内をお渡しし、後日ご遺族が来庁された際に、関係課が連携し最小限の動きで手続

きが済むようサポートを行っている。

問 村民目線でのデジタル化とは

答 村民とデジタル社会を繋ぐ役割を



問 国のデジタル庁創設の動きは、コロナ禍を契機に、オンライン化等を進め、職員の大幅削減と行政サービスの簡略化へ向かうものと思われる。村のデジタル化の進め方は。

答 まるごとデジタル化構想は、役場業務にAIやRPA等ICTツールを活用し、IT・デジタル化のメリットを村民が享受できるように取り組む。

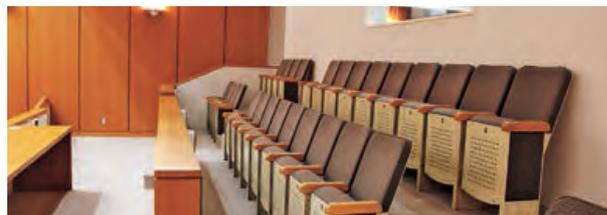
表紙写真の紹介



生産最盛期！ おいしい「ほしいも」の季節がきました。
照沼の農家さん宅では、笑顔で丁寧な作業をする姿が見られました。多くの人の手に届き、喜ぶ顔が目に見えます。寒い中ですが、頑張ってください！

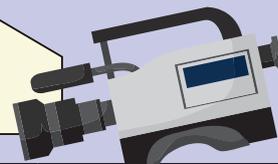
傍聴から はじめよう！

どなたでも傍聴できます。役場議会棟2階にお越しください。(受付は30分前から)



3月定例会日程 (予定)

村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中



期日	時間	内容
3月1日(月)	午後1時～	開会
3月9日(火)	午前10時～	代表質問
3月10日(水)	午前10時～	一般質問
3月11日(木)	午後1時～	一般質問
3月12日(金)	午前10時～	一般質問

期日	時間	内容
3月15日(月)	午前9時～	予算決算委員会
3月16日(火)	午前9時～	予算決算委員会
3月17日(水)	午前9時～	予算決算委員会
3月19日(金)	午前10時～	予算決算委員会
3月24日(水)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

イモゾー
ファミリア
と学ぼう

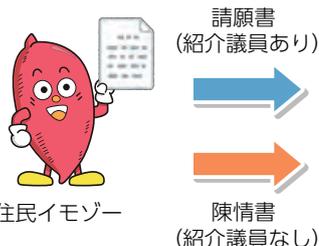
議会の豆知識
No.18

村民の声を 村政に反映させるには

村政などについて意見や要望があるときは、どなたでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

請願書は、1人以上の紹介議員（請願の内容に賛同する議員）の署名が必要です。その後、委員会で「採択」か「不採択」かを審査し、その後本会議で採決します。

陳情書は、村議会議員の紹介は必要なく、その写しを議席へ配付する取り扱いとなります。ただし、村政に関わる陳情については請願と同じく委員会で審査することもあります。



本会議



委員会付託

議席配付